

B-47 バイアステープに関する研究 (第3報)

—いせこみの限界について—

都立立川短大 石毛フミ子

○岡田 陽子

1. 第1報, 第2報においてバイアステープののびおよび実際につける場合のゆるみについて検討をこころみしたが, 今回はバイアステープのいせこみの限界について実験をおこなった。

2. 実験材料 木綿, 絹, キュプラ, アセテートなど10種類。

実験項目

- ① 各種試料の坐屈を生じない限界
- ② 試長の5%のいせこみの状態
- ③ 試長の10%のいせこみの状態
- ④ 試長の15%のいせこみの状態
- ⑤ 試長の20%のいせこみの状態
- ⑥ 試長の25%のいせこみの状態

以上②～⑥につき, (A) 試幅の両側をいせこんだ場合, (B) 試幅の片側をいせこんだ場合 および幅について検討した。

3. ①の場合木綿3～5%, 絹8%, キュプラアセテート4～8%程度, (A)の場合木綿5～10%, 絹15%, キュプラアセテート20%。(B)の場合木綿10～15%, 絹15%, キュプラ20%, アセテート25%程度であった。